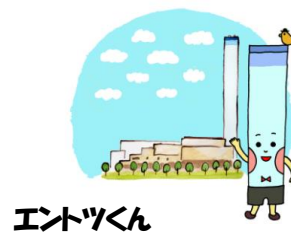


さんちょう ふじみ衛生組合三調だより



第28号 令和3年12月発行

ふじみ衛生組合（組織市：三鷹市・調布市）



エントツくん

「ふじみ衛生組合三調だより」第28号では、リサイクルセンター整備基本計画（案）のパブリックコメントの実施及び市民説明会の開催についてお伝えします。

1 リサイクルセンター整備基本計画（案）のパブリックコメントの実施

ふじみ衛生組合では、新施設の整備が必要となっているリサイクルセンターについて、令和9年度の新施設竣工を目指し、「リサイクルセンター整備基本計画（案）」を取りまとめました。

計画の内容については、ふじみ衛生組合ホームページ等をご覧ください。

リサイクルセンター整備基本計画（案）の概要

裏面をご確認ください。

意見募集期間

令和3年12月20日（月）～令和4年1月20日（木）（必着）

意見の提出方法

表題に「ふじみ衛生組合リサイクルセンター整備基本計画（案）への意見」と明記し、住所、氏名、電話番号、ご意見を明記したうえで、直接持参（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。）又は郵送・ファックス・Eメールにて下欄の提出先に提出して下さい。様式は自由です。

資料閲覧場所

ふじみ衛生組合ホームページ（<https://fujimieiseikumiai.jp/>） ※右のQRコードからアクセスできます。

ふじみ衛生組合、三鷹市ごみ対策課、調布市ごみ対策課

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



リサイクルセンター基本計画（案）については令和3年12月20日（月）から閲覧できます。

提出意見と組合の考え方の公表

令和4年3月頃にふじみ衛生組合のホームページなどでお知らせします。

2 リサイクルセンター整備基本計画（案）の市民説明会の開催

ふじみ衛生組合では、パブリックコメントと合わせて市民説明会を開催します。

日時

第1回 令和4年1月12日（水）18時30分～

第2回 令和4年1月15日（土）14時00分～

※両日とも同じ説明内容となります。ご都合の良い回にお越しください。

会場

ふじみ衛生組合クリーンプラザふじみ3階研修ホール

※事前の申し込みは不要です。当日直接会場へお越しください。

パブリックコメント提出先・問合せ先：ふじみ衛生組合施設課

〒182-0012東京都調布市深大寺東町7-50-30

電話：042-482-5497 FAX：042-482-5491 E-mail：fujimi-shisetuka@fujimieiseikumiai.jp

リサイクルセンター整備基本計画（案）の概要

(1) 事業主体及び更新予定地

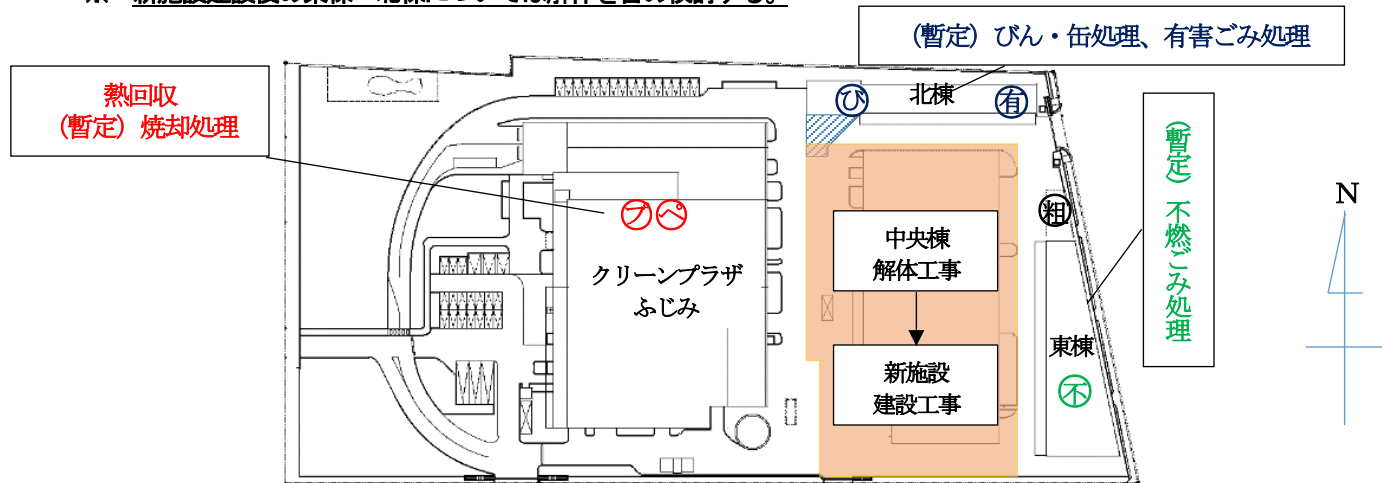
（事業主体）ふじみ衛生組合 （更新予定地）ふじみ衛生組合用地（調布市深大寺東町7丁目50番地30）

(2) 整備手法

自区域内処理の原則に沿ったごみ処理ができ、経済性にも優れる中央棟のみの建替更新とする。

※ 事前に東棟・北棟改造工事を実施し、新施設工事期間中は、東棟で不燃ごみ、北棟でびん・缶を処理し、プラスチック及びペットボトルは熱回収（焼却処理）とする。

※ 新施設建設後の東棟・北棟については解体を含め検討する。



粗：粗大ごみ、不：不燃ごみ、プラ：プラスチック、ペット：ペットボトル、びん・缶：びん・缶、有害：有害ごみ

(3) 処理品目及び施設規模

	【現施設】	【新施設】	
① 粗大ごみ	無※1	⇒ 7t/5h	※1 現施設に破碎設備が無いため、重機で破碎し、処理しています。
② 不燃ごみ	71t/5h	⇒ 23~27t/5h※2	※2 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和3年6月に公布され、今後、国においては製品プラスチックを含むプラスチックのリサイクルを推進する予定です。当組合でも、今後、製品プラスチックのリサイクルを検討するため、施設規模に幅を持たせています。施設整備実施計画を策定する段階までに、最新データに基づく施設規模を再算出します。
③ プラスチック※3	無	⇒ 37~41t/5h※2	※3 処理ラインが無いため、不燃ごみラインを利用しています。
④ ペットボトル	7.5t/5h	⇒ 10t/5h	
⑤ びん・缶	2.4t/5h	⇒ 11t/5h	
⑥ 有害ごみ	保管	⇒ 保管	

(4) 付帯機能計画

① 環境学習機能

施設見学者ルートの設定をはじめ、リサイクル体験機能、環境学習会議室等の設置を検討します。

② 地域コミュニケーション・市民への還元機能

三鷹市民及び調布市民の方を対象とした集会等のコミュニティ活動に活用できるスペースや、粗大ごみとして排出された家具などを修理・加工して展示・販売するリサイクル工房機能を検討します。また、粗大ごみ、不燃ごみ等を持ち込みできるように検討します。

③ 防災機能

備蓄倉庫機能を持たせるなど、避難所としての役割を果たせる整備の検討や、災害時にも安定的にごみ収集を図ることができるよう、一時貯留機能の充実を検討します。

(5) 事業スケジュール

令和9年度の竣工を予定し、令和6年度から暫定処理及び解体工事を開始する予定です。

(6) 事業費

建設費として約70億円（税抜き）を想定しています。

(7) 工事期間中の経費

東棟・北棟改造工事費として約4億円（税抜き）、工事期間中のごみ処理経費として3年間で約9億円（税抜き）を想定しています。

(8) 工事期間中の環境負荷

工事期間中におけるプラスチック及びペットボトルの熱回収（焼却）による当組合でのCO₂増加量は約17,000t/年程度と想定しています。

※ 新施設稼働後はプラスチックのリサイクル率の向上が見込まれることから、当組合でのCO₂発生量は、現在より減少することが想定され、工事期間中のCO₂増加分は約7年間で回収できると想定しています。